

■平成 25 年度 議会運営委員会行政視察報告

委員 加藤 尚 登

議会運営委員会では、議会の IT 化・議会基本条例・議員定数削減の 3 点について、鳥羽市議会、静岡市議会、茅ヶ崎市議会の 3 議会の取り組みを、11 月 12 日から 14 日までの 3 日間にわたり行政視察を行いました。

三重県鳥羽市

議会の IT 化について

鳥羽市議会は、近年活発に IT 化を進め、その先進性が全国の議会関係者の注目を集めている議会です。具体的には Twitter の活用、USTREAM、YouTube を活用した議会放送・録画配信、タブレットの活用（ここでは iPad に統一）、グループウェアアプリの活用ですが、説明をしてくれた議会事務局職員が、議員から「IT 王子」と呼ばれるほどその分野の知識が充実していたことと、議会活性化に長年取り組んできた議員の高い問題意識が現在の IT 活用につながっているものと感じられました。長岡市議会においても、これからタブレット端末の活用等について具体的な議論が始められるところであり、時宜を得た視察となりました。



鳥羽市役所

静岡県静岡市

議会基本条例について 議員定数削減について



静岡市役所

静岡市議会の議会基本条例、議員定数の検討は、平成 23 年 5 月の地方自治法の一部改正に伴い、議決事件条例の制定とともに検討するため、議会改革特別委員会が設置されたことに端を発します。定数削減の背景としては、平成 24 年 8 月に自治会連合会から議員定数削減に関する要望書が提出されたこと、現職議員の市長選や県議選などへの出馬、現職議長逝去などにより、4 人の欠員状態が当時続いていたこと、

また、平成 17 年に政令指定都市に移行したことに伴い、3つの区制を導入し 14～17 人の選挙区に分かれていたことなどが挙げられます。結果として、4回の特別委員会での協議を経て平成 24 年 11 月定例会初日に 43 人の議員発議により 53 人から 48 人への 5 人の削減案を議決し、4か月後の平成 25 年 3 月の選挙から実施されました。選挙までの日程が短かったことによる弊害はなかったとのことですが、日程が短かったことは懸念されることではあります。議員定数は、議会・議員のあり方とともに議論すべきことですが、直前に議会基本条例制定過程において具体的に検討された上での結論であり、先に挙げた背景もあり、スムーズに結論が得られたようです。

神奈川県茅ヶ崎市

議会基本条例について 議員定数削減について

茅ヶ崎市議会の議員定数削減の発端は、静岡市と同様、市内の有力者が構成する団体から平成 22 年に定数削減に関する請願が提出され、かつ採択されたことによります。それにより、議員定数削減特別委員会を設置し、5回の委員会を経て、多数決により 2 人削減案を決定、平成 22 年 12 月の議会で議決、翌年 4 月の一般選挙から適用となりました。静岡市と同様、議決から次の選挙までの期間が短いことが懸念されます。また、議会基本条例を平成 20 年から議長の諮問機関である議会制度検討会で議論をしていたという背景も共通しています。この議会基本条例は、選挙直前の平成 23 年 3 月に議決しています。



茅ヶ崎市役所

静岡市議会、選挙区が分かれているという点において、また茅ヶ崎市は、面積が極端に小さい人口高密度地であるという点において長岡市とは違いが見られるものの、両市とも議会のあり方、議員活動のあり方を規定する議会基本条例を検討する中で議員定数についての議論を進めている点が合理的であるという感想を持ちました。長岡市は 9 年前からの大合併により各市町村にいた 193 人の議員が 38 人となり、議員活動には何より質の変化・向上が問われています。従来が発想にとらわれない議論の上で、議員同士での結論を得て実行、進化しつづけることが私たちに課せられた責務であると改めて感じることできた視察でした。

■平成25度 総務委員会行政視察報告

委員 藤井盛光

総務委員会は平成25年10月16日から10月18日の3日間、愛知県岡崎市、愛知県名古屋市の岡崎市、岡崎市倉敷市で行政視察を行いました。

愛知県岡崎市

PFI手法による公共施設の整備について ファシリティマネジメントについて



岡崎市役所

岡崎市では、「PFI手法による公共施設の整備について」と「ファシリティマネジメントについて」を視察しました。PFI (Private Finance Initiative) とは、民間に公共施設の整備及び公共サービス提供を委ねる手法のことで、市場原理の導入により官のリスクコストを削減し、民間の利益を生み出すことが可能とされています。PFI導入に当たり、事業全体を捉える必要性から市長以下の市幹部からなる経営会議及び検討部会を常設し、人事、財政等を

一括で検討しています。また民間の参入に当たり、安定したサービスを提供できるか、目先の資金繰りでないことを確認するために、2年間の準備期間を定めて経営の健全性を審査しています。岡崎市では、水道事業の一部（浄水場）へのPFI導入に安全面の確保等、賛否両論ありましたが、もともと事業の半分程度は外注していることもあり、現在のところ問題はないようです。

愛知県名古屋市

債権回収管理計画について 防災対策について

名古屋市では、「債権回収管理計画について」と「防災対策について」を視察しました。名古屋市は豪雨による冠水が恒常化しており、その対策に多大な尽力を強いられています。平成23年の台風15号では108万人に避難勧告・指示が出されました。特筆すべき取り組みとしては、危険地域の表記を官民



名古屋市役所

合同で実施し、民間施設を一時避難場所として確保していること、中部電力のウェブサイト上でも災害状況を発信していること、消防が災害防災本部となること、小学校区ごとの消防団設置（2km 四方に 25 名）が挙げられます。自主防災会は 100%の組織率となっているものの形骸化が進んでおり、こういった対策が実際に効果を発揮しています。長岡市でも自主防災会の形骸化が指摘されており、このところ増加傾向にある自然災害に対し、名古屋市の取り組みに学ぶことは大いにあると思いました。

岡山県倉敷市

ファシリティマネジメントについて 中核市への移行の取り組みについて

倉敷市では、「ファシリティマネジメントについて」と「中核市への移行の取り組みについて」を視察しました。ファシリティマネジメントとは、不動産及び設備を最適な運営状態で維持するための管理手法です。倉敷市は、市職員の持つ専門性は限られていることを自覚し、有効な施設管理を行う上で民間経験者をリーダーに据え、この手法を全面的に



倉敷市役所

導入しています。行政組織は基本的にそれぞれの縦割り所管の中で予算執行を行うわけですが、それが大局的な優先順位と各部署の予算の取り合いとの綱引きになることがあります。その予算執行の優先順位を決めるに当たり、市職員による一律管理を改め、専門知識を有する診断チームを組織し、即対応→要対応→現状維持等の優先順位をつけることにより、実態にあった施設の管理運営が限られた予算の中で効率的に行われています。効率性の向上による総量削減が狙いではありますが、現場の気持ちを萎縮させないために前向きなイメージで実施することを心がけているようです。

■平成25年度 文教福祉委員会行政視察報告

副委員長 浮部文雄

文教福祉委員会では、10月22日から24日までの3日間、長崎県雲仙市、熊本県熊本市、福岡県北九州市にて行政視察を行いました。

長崎県雲仙市

いじめ防止条例について

10月22日、雲仙市では「子どものいじめ防止に関する条例」について視察しました。全国的に子どものいじめ問題が深刻化するなか、平成24年の第3回定例市議会において、ある議員の「雲仙市はいじめ防止条例を制定する気はないのか？」という一般質問をキッカケとして、条例制定に取り組むこととなりました。このことに関する事務局を市長直属の政策企画課内に設置し、検討を重ねた結果「いじめの

防止を市民総ぐるみで推進していく」こととしました。この言葉は条例の前文にもうたわれているほどの基本理念となっています。いじめの事案が発生した場合には、まず学校で取り組み、解決が困難な場合には教育委員会へ、それでも困難な場合には「いじめ防止専門委員会」の判断を仰ぎ、3者の連携により問題を解決する方向にもっていくこととしています。「いじめ防止専門委員会」とは、弁護士、心理士、人権擁護委員、児童委員、PTA連合会の5者からなる委員会で、市長の要請に応じ、調査、審査、審議、調整を行う外部機関となっています。「市民総ぐるみ」の理念のもと、学校、教育委員会だけでなく、地域、市役所、外部機関が連携すること、つまりタテ割ではなく、ヨコの連携が重要であると感じました。



雲仙市役所



熊本市役所

熊本県熊本市

くまもとはつらつプランにおける高齢者事業について

10月23日は熊本市において「くまもとはつらつプランにおける高齢者事業」について視察しました。熊本市も少子高齢化が進んでおり、どのように対応していくかが重要な課題となっています。総合計画の中の分野別計画の一つとして、

この「くまもとはつらっプラン」は平成 24 年度からの 3 か年計画として策定されました。老人福祉法に基づく「市町村老人福祉計画」と、介護保険法に基づく「市町村介護保険事業計画」の 2 つの計画を一体的に定めるもので、「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアの仕組みづくり」や「高齢者の生きがいをづくり活動支援」など 5 つの基本方針から成り立っています。中でもユニークなのは、中学生の発案による「ジュニアヘルパー」の活動です。民生委員と一緒に中学生が近所の一人暮らしの高齢者宅を訪問し、話し相手になったりお手伝いをしたりするという活動で、「近くに可愛い孫ができたようだ」と評判上々のようです。福祉は行政や大人だけがやるものではなく、中学生でも参加できるのだということを感じさせられました。

福岡県北九州市

障害者基幹相談支援センターについて

10 月 24 日は北九州市にて「障害者基幹相談支援センター」を視察しました。障害のある人やその家族が福祉サービスを受けようとするときや、生活上の悩みを解決しようとするときは、行政と民間の相談機関を利用することになりますが、行政と民間の連携がとれていないと継続的な支援が受けられない、また、専門的な相談支援機関はあるが窓口が多すぎてどこに相談してよいかかわからない、そして、年代別の生活状況が変わる際の引き継ぎにおいて情報の共有化が図れていないなどの様々な問題がある中、北九州市は平成 24 年、「障害者基幹相談支援センター」を開設し、総合的な相談窓口として整備しました。今後は、障害者が乳幼児の段階から大人になるまで、一貫した支援体制の構築を目指しているとのことでした。我が長岡市の福祉相談体制の一層の充実を望みたいと感じました。



障害者しごとサポートセンター

■平成 25 年度 産業市民委員会行政視察報告

委員 高見美加

産業市民委員会では、10月2日から4日までの3日間、北海道札幌市、上川郡下川町、名寄市を視察しました。

北海道札幌市

市民共同発電事業について

札幌市では、「市民共同発電事業」について視察しました。この事業は、電気やエネルギーを市民が自ら選び買う仕組みづくりのため、生協を母体として設立されたNPO法人北海道グリーンファンド、出資の募集・管理のための（株）自然エネルギー市民ファンド、企画開発・運営を担う（株）市民風力発電が一体となり、風力発電設備「市民風車」の設置事業や事業化支援推進を行っています。事業は、寄付や市民出資、ファンド会員から月々の電



北海道グリーンファンド

気代の5%を寄付してもらってグリーン電気料金制度による基金の積み立てにより建設費用を賄い、発電した電気を電力会社へ売却しています。実績としては、市民風車の事業推進のノウハウの活用により、風車を全国に累計16基（設備容量25,750kw、一般家庭約1万6,600世帯分の発電量）設置したこと、地域・市民参加によるファイナンススキームの組成、ファンドの会員約4千人から約24億円の資金調達の実現、2.0~2.5%の利益配分の維持、雇用の創出、地域でメンテナンス業務を請け負う体制づくりなどがあげられ、市民共同による自然エネルギーの新たな仕組みづくりが実現されているとの説明を受けました。

北海道上川郡下川町

バイオマス産業都市構想について

下川町では、「バイオマス産業都市構想」について視察しました。下川町は、町の面積の88%が森林であるという特色を生かし、平成23年には「環境未来都市」に選定され、「森林総合産業の創造」「森林バイオマス活用を中心としたエネルギー完全自給」「超高齢化対応」の実現に向けた取り組みを展開していました。森林資源は、木質ボイラー燃料（全公共施設のエネルギーの42%を賄う）、農業資材、土木工事資材、建築材料から木酢液、化粧水、割り箸など多岐に利用されており、ゼロエミッションの木材加工事業の取り組みが進んでいます。また、人口150人の高齢化率52%の一の橋集落を、超高齢化・エネルギー



下川町木質原料製造施設

一自給・集落対策の集住化のモデルエリアとして開発し、22戸の町営集合住宅に、木質チップボイラーによるエネルギー自給システムを導入したほか、買い物支援や協働機会・コミュニケーションの場を創出するなど、衰退集落の次世代のコンパクトモデルの形成に取り組んでいます。

北海道名寄市

植物工場の運営について

名寄市では、「商業・交流機能等の一体的整備によるまちづくり」について視察しました。名寄市に合併した旧風連町では、市街地に人口の5割が集中していたものの、人口の減少が続き、商業機能が衰退してきていたことから、その中心市街地を商業、業務施設、公共施設等の拠点施設として一体的に整備しました。事業のコンセプトを身の丈に合った公民連携による風土に合ったまち並み空間の創出とし、商業、医療、福祉、住居等の複合機能を併せ持った地区の形成に取り組んでいました。成果としては、教育、文化、自治等の地域活動等の拠点の完成、商業・サービス業の維持による人・物の集積、老朽化診療所の建て替えと保健所新設、民間調剤薬局の転入による安心な暮らしの提供等、名寄の南の玄関口として、市民の評価、満足感も高くなったと説明を受けました。



名寄市ふろれん地域交流センター

東日本大震災以来、自然エネルギーへの関心は一気に高まってきたと認識しています。所管の委員会として、今回の視察を参考にし、当市がこれから一自治体として市民と協働で何が実現できるかを見極め、今後のエネルギー政策を議論し、模索していきたいと考えます。また、当市にとっても喫緊の課題である地域の中心商店街の活性化策を含めた過疎地域への取り組みについても、今回の視察自治体の新たなる積極的事業展開は、大変参考になりました。

■平成25年度 建設委員会行政視察報告

副委員長 広井 晃

建設委員会では、10月22日から24日までの3日間、浜松市、豊橋市、岐阜市、大垣市の4市の行政視察を行いました。

静岡県浜松市

浜松市中心市街地活性化計画について 市循環まちバス「くるる」について

初日の22日は、浜松市の駅前バスターミナルから市循環まちバス「くるる」に実際に乗車し、運行状況を体験しました。市内を3路線に分け、20分・30分間隔で運行されています。市街地を単純路線でなく市街地を縫うように運行されていました。運賃は100円と格安ですが、停留所の位置など改善の余地があるという利用者の声も聞くことができました。中心市街地再開発では、民間主導の「まちなかにぎわい協議会」を中心に利用者の利便性向上に努める取り組みがなされていました。運用については、民間力が重要です。



浜松市役所

愛知県豊橋市

景観形成基本計画における景観形成地区制度・助成制度について



二川宿本陣資料館

2日目の午前中は、豊橋市の東海道五十三次の宿場であった二川宿の二川宿景観形成地区整備計画の状況を視察しました。二川宿は二川町と大岩町の2つの町内から形成された所であり、各町内で地域住民のまちづくり活動が活発になり「まちづくり会」を作り、行政との間で「まちづくり協定」を締結して景観保存とまちおこしを進めています。建物やイベントについては、住民の理解のもと進めています。交通政策については、バイパス整備などの課題が残っているようでした。

岐阜県岐阜市

中心市街地及びその周辺地区まちなか歩き構想について まちなか住居支援事業について



川原町周辺整備

午後は岐阜市のまちなか住居支援事業と中心市街地及びその周辺地区まちなか歩き構想について視察しました。同市の中心市街地活性化基本計画で設定された、にぎわいの創出とまちなか居住の推進の2点を目標として進められた経緯があります。まちなか居住の推進は、居住人口の増加を図るため新築住宅取得助成、個人住宅取得金利子補給事業やまちなか賃貸住宅家賃助成事業など金融面での支援を行っています。支援金額などの面で活用の実績が低迷していま

した。中心市街地及びその周辺地区まちなか歩き構想は、中心市街地のにぎわい創出をさらに拡充し、岐阜市街地の4地区でまちなか歩き構想をたて、それぞれをつなぐ回遊観光とまち並み整備を合わせたものです。「後世に伝えるみちづくり、ひろばづくり、かわづくり」を基本理念としています。実際に、川原町の整備状況を視察しました。ここでは、歴史を振り返りながら無電柱化や道路舗装の状況を視察しました。長良川の景観を生かし、サインや看板が整備されていました。土産物や食事などは、民間企業との連携を行っており、市民協働が行われていました。最終的に観光客の増加による売上の増加を目的とし、それによる税収の増加分を地域整備などで市民に還元するフローを実現しようというものでした。今後の進展に興味を持ちました。

岐阜県大垣市

都市再生整備計画（中心市街地地区）における奥の細道むすびの地周辺整備事業について

3日目は、大垣市の「奥の細道むすびの地記念館」と周辺整備事業について視察しました。大垣市の中心市街地には、奥の細道むすびの地があり、中心市街地の活性化に向けた回遊性の誘発と市内外からの来訪者の増加を目指し整備されています。昨年オープンした奥の細道むすびの地記念館を中心市街地活性化拠点とし、「俳句のまち大垣」「水の都大垣」を全国に向けて積極的にPRしています。1



奥の細道むすびの地記念館

年1カ月で30万人の入場者を数える盛況ぶりです。その要因として、自市の回遊のみならず、他の市町村や中日本高速道路株式会社と共催した、数々の回遊スタンプラリーアイデアは参考になるものでした。また、周辺整備では、公衆便所の整備、案内板の整備など、他との内容の違いが注目するところです。特に記念館の内容も資料の少ない大垣のものより、他市のものを利用したところも長岡には大いに参考になりました。

この度の視察では、住民主体の市街地整備計画や運営、広域的な環境整備と連携など長岡の施策検討など、委員にとって有意義な視察であったことを報告いたします。